

天文語「一」行「」辭典 (4)

- イラヂェーション** Irradiation 背景に對する對照上、日月五遊星の形が大きく見える事。
- インスブルク** Innsbruck 奧國西部の學都。宇宙物理學研究所がある。
- インネス** R.T.A. Innes 英國南阿ユニオン天文臺長(1861—1926)二重星の研究者
- インヴー** Invar 鋼鐵とニッケルの特殊な合金、溫度膨脹率僅少。時計に用ふ。
- ウ** ギリシヤ文字「ウプシロン」の略〔其の條を見られよ〕
- 卯** 十二支の第四番、方角は東、時刻は午前6時。
- 卯月** 舊曆の第四月のこと。
- 上田 穰** 理學博士、京都帝國大學の天文學教授(1892—)
- 上島 昇** 理學士、京都帝大講師、花山天文臺太陽部長(1904—)
- 上田** 信州の都市、宮島氏の天文臺がある。
- 上野** 東京の公園區域、1931年科學博物館竣成、天文望遠鏡室あり。
- 魚座** トレミ1星座の一。春分點を含み、冬の夕暮れ南中。
- 魚新座星** 1907年九月エルンスト發見、8等級に上る。
- ウクライナ** Ukraina キエフ、オデサ、シメイス、ニコライエフ等に天文臺あり。
- 兎座** トレミ1星座の一。オリオン座の南隣、毎年冬の夕暮れ南中。
- 兎** 月面の海洋の形を肉眼で見て兎と思つたことは支那古代から傳はる。
- 丑** 十二支の第二位。
- 牛座** トレミ1星座で黃道の第二位、ヒヤデスとプレヤデスの二星團あり
- 牛飼座** 「牧夫座」に同じ。
- 艮** 「うしとら」即ち東北の方角。
- ウツ** I.E.Woods 米國女流天文家、ハーバード天文臺で變光星研究。
- 渦** 流體一部分の廻轉運動、地球や太陽の大氣中、黒點や星霧にも見ゆ、
- 渦形曲線** 渦の運動する流線。アルキメデス型又は對數型等の種類がある。
- 渦形星霧** 銀河外の星霧に多い。M31、M33、M81、M101等皆之れ。
- 雨水** 支那曆二十四節の一。正月中、太陽が双魚宮(黃經330°)に入る時。
- 宇宙** 時間空間一切を統制あるものとしての稱。又、天體の群團
- 島宇宙** 一つ離れて獨立存在する天體宇宙。アンドロメ大星霧など。
- 宇宙線** 宇宙間を往來する最強力放射線。1925年米國ミリカン氏發見。
- 宇宙開闢論** 宇宙の創成に關する學。カント、ラプラリス以來の學
- 宇宙構造論** 宇宙の空間的構造の學。トレミ1、コペルニク、ニュートン等以來のもの。
- 宇宙進化論** 宇宙の時間的變化を論ずる學。カント、ラプラリスに始まり今はジーンズ
- 宇宙の中心** 射手座中の銀河、距離四萬光年の所にあり。
- 宇宙物理學** 宇宙の物理、分ちて天體物理學と地球物理學の二とす。

- 宇宙の限界** アインシュタインの論によれば宇宙には限界あり。
- 宇宙論** 宇宙の構造、進化、運命等に関する學。
- ウゾ** J. C. Houzeau 白國ブルユセル天文臺長・太陽視差や銀河の研究(1820—88)
- 腕型** フランスで發明された赤道儀の一種。パリ、ニス等の天文臺にあり。
- ウトレヒト** Utrecht 和蘭の大學で、天文臺あり、臺長ナイランド氏。
- ウード** R.W. Wood 米國ボルテモア大學物理學教授月面の色を研究(1868—)
- ウドワード** R.S. Woodward 米國數理學者、力學上の論文多し。
- ウプサラ** Upsala スウェーデン國の學都、天文臺あり。
- ウプシロン** ギリシヤ文字の第20字 υ
- 海** Mare 月面中の暗部。クリシウス海、ヌーベス海、イムプロス海等。
- 海蛇** [ヒドラを見られよ]
- 小海蛇** [水蛇(みづへび)を見られよ]
- ウラヂオストク** Vladivostok 天文臺、氣象と天文との研究す、
- 占ひ** 兆候を判じて未來を豫言す、東洋西洋共に天文學より生れ流行す。
- ウラニウム** Uranium 第92番の化學元素、原子量238.2、放射能あり。
- ウラノス** Uranos ギリシヤの神、天空の司配者。
- ウラヌス** Uranus 天王星の學名、ギリシヤのウラノスより採る。
- 盂蘭盆** 佛教の祭日、舊七月十五日。
- 閏** 曆學上、日月の運行を調節するため挿入する期間。
- 閏の日** 現行の太陽曆で、二月二十九日を言ふ。
- 閏の月** 日本舊曆時代の曆法で、時々一年十二ヶ月に加ふる月。
- 閏年** 閏日又は閏月を有する年。
- ウルバ|ナ** Urbana 此所に米國イリノイ州立大學天文臺あり、75徑反射鏡あり。
- ウル|ベ|** Ulugh Beg アラビヤの軍將、天文家、サマルカンドで觀測(1394—1449)
- ウルサ** Ursa ラテン語「熊」の意。大熊星座は Ursa Major。
- ウルシド** Ursid 熊の星座に輻射點を有する流星。
- ウルトラバイオレット** Ultraviolet 紫外線。日光中のものは地球のオゾンに吸收さる。
- 運河** Canal 運河、火星表面に見える細線。1877年スキヤパレリ發見。
- 運行** 地球から見てみて、天球上を行く天體の視運動。例、日週運行。
- ウンセルド** A. Unsöld 獨國ハムブルグ大學物理學者。恒星大氣の研究者。
- 運動** 天體其他一般の物體のうごくこと。之れの研究が古來の天文學の主目的
- 運動式** 物體の運動を記載する數式「運動の方程式」ともいふ。
- 運動の方程式** 上記を見られよ、天體力學の諸問題は此の式を解くにある。
- 運搬用** セキスタント、クロノメータ、小型の子午儀や赤道儀は皆運搬用器械。
- ウンブリエル** Umbriel 天王星の第二衛星。1851年ラセル發見、14等。
- ウンブラ** Umbra ラテン語「影」の意。日月食の影、太陽黒點の暗部等。